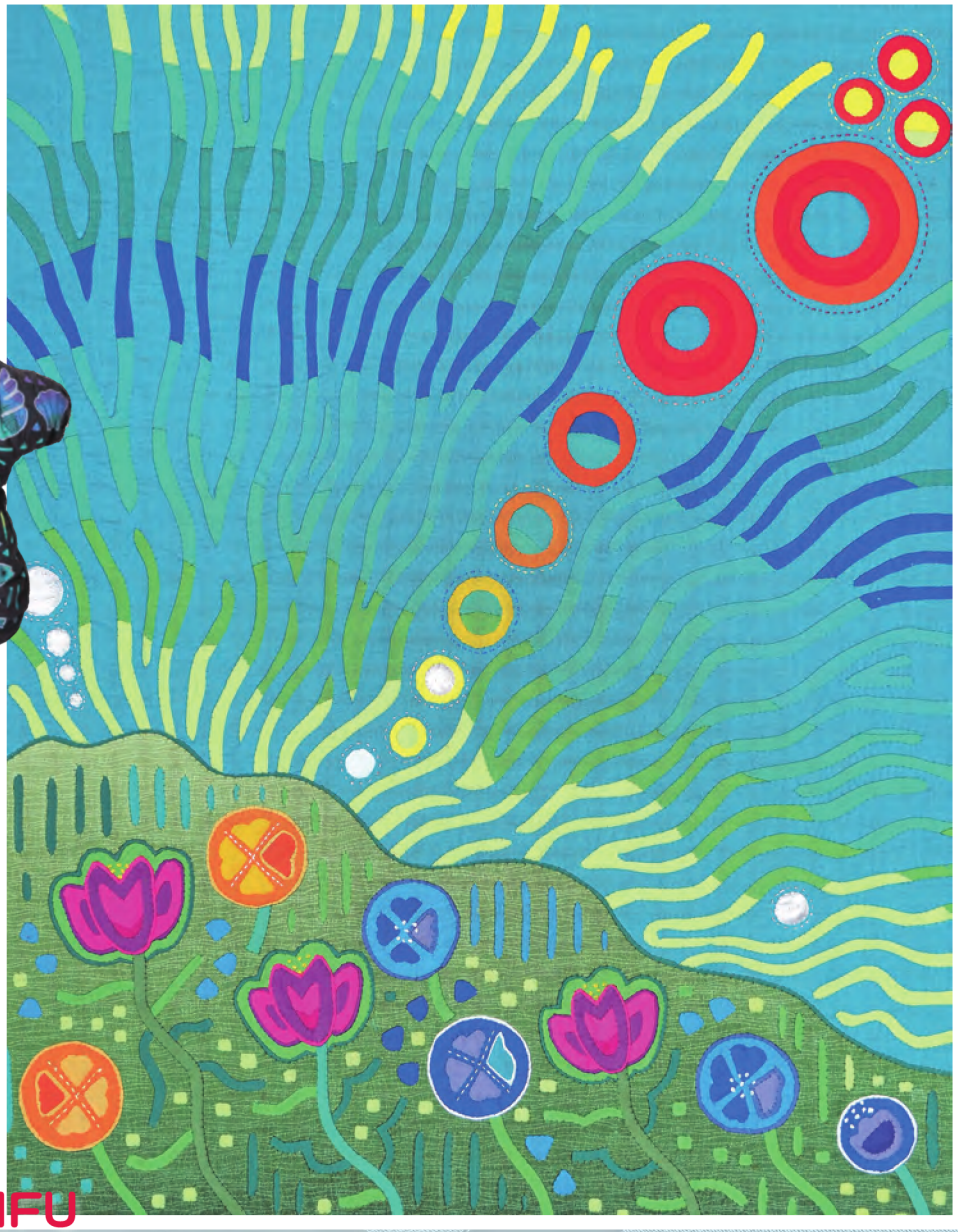
県民ゆめ応援プロジェクト
～ギフとfor You～

TOKYO 2020
応援プログラム





デフモラ GIFU

モラの手芸展
モラで描くメルヘン



2018年 6月24日(日)～7月22日(日)

9:00～17:00　入場無料　■会場　ぎふ清流文化プラザ 1F 文化芸術県民ギャラリー

第3回を迎える「県民ゆめ応援プロジェクト～ギフと for You～」の
「見せたい！」企画展に応募し、選ばれた「デフモラGIFU」のはじめての展覧会になります。
色彩豊かで、自然に由来した図柄を特徴とするモラは、時間と手間をかけて作られます。
その色彩豊かな世界を堪能してください。動物の声や風のにおいが感じられるでしょうか？

「岐阜県障がい者芸術文化支援センター」
開所関連事業
2018年 7月6日(金) 13:30～15:00
文化芸術県民ギャラリーにて
デフモラGIFUの皆さんによる実演（見学自由）

beyond 2020
文化庁
平成30年度　文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

tomoni
GIFU PROJECT

ぎふ清流文化プラザ
ともに、つくる、つたえる、かなえる

岐阜県障がい者芸術文化支援センター（TASC ぎふ）開所関連事業

主催／（公財）岐阜県教育文化財団　共催／岐阜県

デフモラ GIFU

モラの手芸展

モラで描くメルヘン








●「県民ゆめ応援プロジェクト～ギフと for You ～」とは…

次世代の文化芸術の担い手を育成するとともに、新たな文化を創造するため、県民がかなえたい企画を、ぎふ清流文化プラザ内の「長良川ホール」や「文化芸術県民ギャラリー」などで実現するプロジェクトです。

●「デフモラ GIFU」

日本のモラの第一人者である中山富美子氏に師事した右高慶子氏が代表を務めています。2015 年に、聾 (ろう) 者と健聴者がグループを結成し、今年で 3 年目を迎えます。徐々に人数も増え、現在では 14 名の女性が毎週集まって、モラの制作に励んでいます。

●「モラ」とは…

「モラ」はカリブ海のサンブラス諸島に住むパナマの少数民族クナ族の民族衣装として作られる多重アップリケです。何枚かの布を重ね、切り込みを入れ、縫い込むことで文様を出す独特の手芸です。元来、自然界の鳥や動物、花などをモチーフにしています。日本では、手芸家である中山富美子氏が独自に進化させ、モラ手芸として人気を集めています。

ぎふ清流文化プラザ

ともに、つくる、つたえる、かなえる

お問い合わせ

公益財団法人　岐阜県教育文化財団

岐阜市学園町3-42ぎふ清流文化プラザ１F

〒502－0841

TEL：058-233-5377　FAX：058-233-5811

http://www.g-kyoubun.or.jp/

:gecf@g-kyoubun.or.jp

受付時間：平日9：00～17：15

[駐車場のご案内]

ぎふ清流文化プラザ駐車場（１３６台）

駐車料金／３時間まで１００円　それ以降３０分ごとに１００円

・駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

・障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

[公共交通機関のご案内]

岐阜バス

ＪＲ岐阜駅１０番のりば または 名鉄岐阜（バスターミナル）Cのりば

[三田洞線] 市民会館 / 長良川国際会議場 方面行き

「K49 城田寺団地」、「K50 長良八代公園前」、「K55 粟野西５丁目」

にて約２０分。バス停「メモリアル正門前」下車 徒歩１分。

